

農業の新しい技術

No. 645 (平成 23 年 5 月)
分類コード 01 - 14
熊本県農林水産部

はるやまと 褐毛和種種雄牛「春山都」の選抜

農業研究センター畜産研究所 生産基礎技術研究室
担当者：地内 正嗣

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 枝肉重量およびロース芯面積が優れ、血統が希少系統に属する褐毛和種種雄牛「春山都」を選抜した。

血統

父 第六春玉 E T (特級 107)	祖父 春玉(高 44)	重玉(高 11)
	祖母 ふじこ(1 級 37940)	重丸(高 45)
母 八さかえ(繁殖 12234)	祖父 黒重川(特級 163)	第二十八重川(特級 26)
	祖母 第二あきさかえ (特級 19339)	重波 1 (特級 17)

登録番号：繁殖 1 5 2

生年月日：平成 1 8 年 7 月 8 日

生産地：上益城郡山都町

2. 現場後代検定成績および育種価

枝肉重量は、去勢 509.6kg で一般肥育の去勢 463.9kg よりも優れ、B V でも +18.28kg(評価種雄牛 472 頭中 64 位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

脂肪交雑(BMS.No)は去勢、雌ともに一般肥育と同程度であるが、育種価では +1.81(評価種雄牛 472 頭中 23 位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

- ロース芯面積は、去勢 55.6cm²で一般肥育の去勢 50.4 cm²よりも優れ、B V でも +5.98cm²(評価種雄牛 472 頭中 20 位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

本牛は希少系統的(春玉系)な種雄牛であり、県内繁殖牛の血統が光重系に偏っている中で近交係数の高まりを和らげ、雌側の改良にも貢献できる。また、褐毛和種本来の利点である枝肉重量およびロース芯面積が大きい産子を生産できる基幹種雄牛として期待される。

- * 育種価(B V)は、産子の肥育成績や血統情報等を用いて、後代牛が父牛の遺伝的影響でどれだけ改良されるかを予測した数値。

